

# 外来化学療法室の紹介

がん化学療法看護認定看護師 市村 菜穂 × 岩科 麻見  
(2010年取得) (2013年取得)



がん化学療法看護認定看護師の役割は、化学療法(抗がん剤治療)を受ける患者さんへ、薬剤の特性と管理の知識をもとに投与や副作用対策を安全かつ適性に行い、患者・家族が主体性をもって治療に向き合うための効果的な看護援助を行っています。

当院には、がん化学療法看護認定看護師が2名所属し、入院や外来にて抗がん剤治療を行う患者さんの支援を行っています。  
今回は、外来化学療法室について紹介をしたいと思います。

## 外来化学療法とは



患者さんが入院をせず通院にて抗がん剤治療を行うことです。

以前は副作用のことを考え、入院で行うことが一般的でしたが、現在は副作用を軽減する薬剤(支持療法)の進歩により、外来通院で抗がん剤治療を行えるようになってきました。  
当院の外来化学療法室はベッド7床、リクライニングチェア5床の計12床で運用し、約250件/月の方が治療をしています。  
呼吸器内科、外科、消化器内科、泌尿器科、婦人科、乳腺外科、脳神経外科など様々な科、様々な疾患の患者さんが通院をしながら治療を受けています。さらに、潰瘍性大腸炎やクローン病、リウマチの患者さんへの生物学的薬剤の投与、ホルモン療法を行っている患者さんのホルモン剤の投与を実施しています。

## 外来化学療法室には

専任の、がん化学療法看護認定看護師(岩科)と救急センターの看護師がいます。

安心してリラックスして治療を受けていただけるよう安全な抗がん剤の投与、副作用症状の観察、副作用への対処方法の説明、治療について悩む患者さんの意志決定を支える支援を行っています。吐き気の強い方、味覚障害が出現し食事内容に困っている患者さんは、栄養士が相談にのりますので、食事のことで心配なことがありましたら化学療法室スタッフまで声をかけてください。



## 外来化学療法室では

がん薬物療法認定薬剤師が治療中に訪室します。

投与スケジュールや薬の効果、予測される副作用について説明をしています。



## 入退院支援センターには

がん化学療法看護認定看護師(市村)がいます。

入院し化学療法を行う患者さんの入院前の支援や、入院中に化学療法を行った患者さんが退院後に不安なく外来化学療法を行うことができるよう支援をしています。



患者さんが安心して治療を受けることができるよう他職種とも連携を図り、スタッフ一同で患者さんをサポートさせていただきます。